

市報

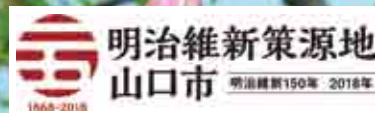
やまぐち

2018

6/1

June

No.304



特集	第二次山口市総合計画を策定	2
■	「里海」を、守る。	8
■	市政トピックス	10
■	県央連携都市圏域の情報を紹介「山口ゆめ回廊」	12
■	野菜が主役の作りおきおかず	13

第二次山口市総合計画を策定

「共に創る」次の10年間のまちづくり



豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ～これが私のふるさとだ～

▶ 都市政策の2つの柱 ◀

広域県央中核都市づくり

県都としての役割を果たす中で、高次の都市機能を集積し、サービス業の振興等を図り、市内等に対して高次の都市機能を提供することで、本市のあらゆる地域に安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

個性と安心の21地域づくり

協働によるまちづくりのもとで、地域資源を最大限に活用し、市内21地域の特長や個性を際立たせ、効果的なネットワークづくりを進めます。同時に、人口減少時代にあっても暮らしやすい、安心の定住環境を確保するまちづくりを進めます。

▶ 10年後の数値におけるまちの姿 ◀

定住人口 約19万人維持
(基準値：196,517人)

交流人口 600万人/年
(基準値：471万人/年)

ふるさと指標* 80ポイント以上
(基準値：77.4ポイント)

*シビックプライド、心の豊かさ、まちの豊かさの各項目をアンケートを基にスコア化した市の独自指標。

▶ 目指すべき都市構造 ◀

重層的コンパクトシティ ～好影響・好循環のまち～

各地域の「人・モノ・資金・情報」が循環する対流型のまちづくりを進め、本市全体の発展を目指します。

山口都市核づくり

行政、文化、教育、商業、観光等の都市の特性や既存ストックをより高めるため、新本庁舎の建て替え整備などを行います。

小郡都市核づくり

県の玄関としての交通結節やアクセス機能を強化し、県ナンバーワンのビジネス街を目指すため、産業交流拠点施設の整備などを行います。

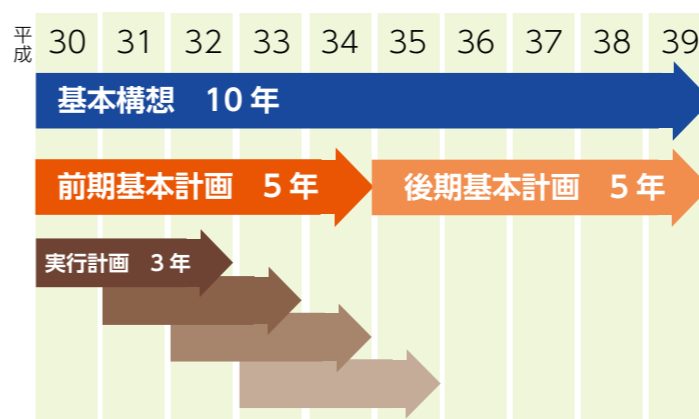
山口らしい地域内分権

地域交流センターを中心に、市内21地域の地域特性に応じた機能の維持・集積を図ります。また、総合支所の機能強化を進め、地域のことは地域で解決する山口らしい地域内分権を確立します。

都市部も農山村も発展



総合計画の位置付け



総合計画とは、市の10年間のまちづくりを総合的、計画的に進めるための市民共通の指針となるものです。第二次山口市総合計画は、平成39年度までの10年間を計画期間とする「基本構想」、5年間を計画期間とする「基本計画」、3年間を計画期間として施策・事業の優先度や財政状況に応じて毎年度見直しを行う「実行計画」で構成されています。

基本構想

基本構想は、本年3月に市議会での議決され、行政だけでなく地域社会全体で目標を共有する公共計画として策定しました。

1. 将来都市像

「豊かな暮らしと交流と創造のまち 山口～これが私のふるさとだ～」
将来都市像は、本市の目指す姿を示す共通の目標です。「豊かな暮らし」は、本市の地域資源の多様性を生かし、市民一人ひとりの多様性を大切にすることで、豊かな地域社会を築いていくものです。同時に、豊かさの価値観を「量（ボリューム）から質（クオリティ）へ」と転換して、暮らしの質を向上させていきます。そして、この「豊かな暮らし」を「交流」と「創造」により支えていきます。この将来都市像を実現するため、「広域県央中核都市づくり」「個性と安心の21地域づくり」を都市政策の柱とします。また、10年後のまちの姿を「定住人口」、「交流人口」、「ふるさと指標」の3つの数値で表しています。

2. 都市構造

「重層的コンパクトシティ～好影響・好循環のまち～」

各地域の個性や特長に応じた機能が集まった拠点と、拠点間の連携・補完のためのネットワークを形成する「重層的コンパクトシティ」を目指します。

都市拠点

山口・小郡の両都市核を中心に、高次の都市機能を集積・強化します。それぞれの都市核の特性に応じて個性を際立たせると同時に、連携やネットワーク化により一体感を持たせ、本市全体の活力が向上する拠点をつくります。

地域拠点

地域交流センターを中心に、地域の特性に応じた生活の拠点となる機能を集積します。また、総合支所の権限を強化し、地域のことは地域で解決する山口らしい地域内分権を確立します。

生活拠点

地域交流センター分館等を中心に、日常生活に必要な機能を確保し、暮らしを守る拠点をつくります。

8つの重点プロジェクト

project 1 広域県央中核都市づくり
 高次の都市機能を集積し、サービス業の振興等を図るとともに、広域ネットワークを強化していきます。

主な取り組み

中心市街地における市街地再開発、新本庁舎の建替整備、市民温泉を含む多世代交流施設整備（湯田）、新山口駅ターミナルパーク整備、新山口駅北地区における産業交流拠点施設整備、スマートインターチェンジ整備（湯田PA）、連携中枢都市圏の取り組み推進 など



project 3 教育・子育てなら山口
 先進の教育環境づくりや結婚から妊娠・出産、子育てへの切れ目のない支援を実施します。

主な取り組み

保育園・児童クラブの待機児童ゼロに向けた取り組み、こども医療費助成の対象拡大、市立小中学校の全教室エアコン整備、市独自の補助教員確保 など

project 5 文化・スポーツ・観光なら山口
 多様な地域資源を磨き上げ、個性が際立つ都市戦略の取り組みを進めます。

主な取り組み

文化芸術・歴史資源・スポーツ地域資源を活用した地域づくり、特色ある観光地域づくり、関係団体等と連携したシティーセールス、国際交流の推進 など

project 7 安全安心のまち
 自然災害に備えた施設の整備改修や日常生活の安心を高める救急機能の強化、交通安全、防犯等に取り組めます。

主な取り組み

消防出張所の新設（鴻南エリア）、集中豪雨に対応する施設整備、地域防災力向上に向けた取り組み、空き家の適正管理の促進 など

project 2 個性と安心の21地域づくり
 協働によるまちづくりのもとでの21地域づくりや、農山村地域等における人口転出超過抑制を図ります。

主な取り組み

農山村の振興（中山間・南部地域）、総合支所・地域交流センターの権限強化、地域交流センターの順次建替整備、道の駅の機能強化、地域が主体的に使い道を決定できる交付金や財源確保の支援、若者のふるさと回帰や定住の支援 など



project 4 働く・起業なら山口
 各分野における担い手確保、企業誘致、中小企業の振興等により地域雇用の創出を進めます。

主な取り組み

新たな産業団地整備（鑄銭司）、起業創業・事業承継の支援、働き方改革の推進、農林水産業の経営基盤強化と担い手育成 など

project 6 健康長寿のまち
 高齢社会に対応した福祉サービスの提供や地域医療機能の維持、地域の支え合いの促進等に取り組めます。

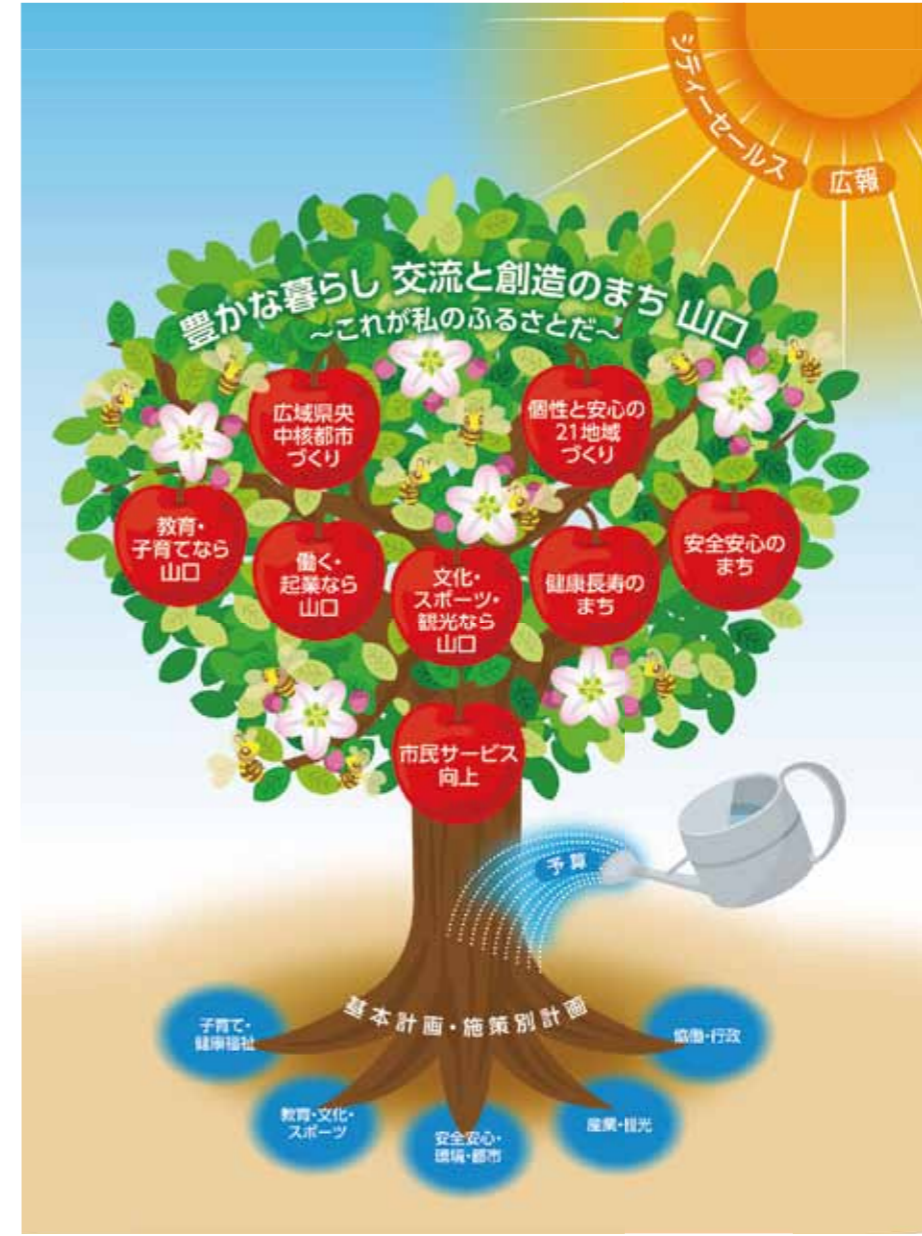
主な取り組み

二次救急病院の機能の向上等の支援、がん検診・特定健康診査の受診促進、地域包括ケアシステムの充実、障がいを理由とした差別解消の推進 など

project 8 市民サービス向上
 多様な市民ニーズに対応できる持続可能な自治体経営を進めていきます。

主な取り組み

職員の人材育成、市民の利便性を高める電子自治体の推進、市政情報発信の充実、職員定員・給与の適正化 など



重点プロジェクトと施策別計画の関係（イメージ）
 市のすべての施策を位置づけている施策別計画を木の根として表現し、5年間で重点的に取り組み、成果をあげていくべき重点プロジェクトを果実として表現しています。
 予算を適切に配分し取り組みを推進するとともに、シティーセールスや情報発信によりこれらの取り組みに光を当てていきます。

**目標を見える化
 3つの重要目標達成指標（5年間の中間目標）**

重要目標達成指標 1 定住人口

基準値・平成 29 年(2017)年
196,517人

↓

目標値・平成 34 年(2022)年
193,500人

重要目標達成指標 2 交流人口

基準値・平成 28 年(2016)年
471万人/年

↓

目標値・平成 34 年(2022)年
530万人/年

重要目標達成指標 3 ふるさと指標

基準値・平成 29 年(2017)年
77.4ポイント

↓

目標値・平成 34 年(2022)年
80.0ポイント

基本計画とは、前ページで説明した将来都市像を実現するために必要な具体的な取り組みを示すものです。平成30年度から34年度までを計画期間とする前期基本計画では、市の施策を「子育て・健

康福祉」などの5つの政策グループに分けて、30の施策と124の基本事業を設定して取り組みの方向性を定めています（施策別計画）。また、施策横断的に、縦断的に対応すべき取り組みを8つの重点プ

プロジェクトとして掲げています。さらに、プロジェクトの効果的な推進のため、「定住人口」、「交流人口」、「ふるさと指標」を、達成状況に関する総合的な指標として設定します。

今後5年間の「前期基本計画」とは



「帰って来たくなる
『ふるさと』を創る」

山口大学副学長 田中和広さん

「第一次山口市総合計画」は、約2年間にわたり、多くの市民の皆様
の御参画をいただきながら、「共に創る」をスローガンに策定を進め
ました。このうち、市民参画による策定体制の「山口市総合計画策定
協議会」では、有識者、各種関係団体、市民公募の合計24名の委員の
皆様に、御審議をいただきました。今回、この策定協議会の会長であ
る山口大学の田中和広副学長にお話を伺いました。

—— 会長として、1年半に渡り、
議論を深めていただきました。ま
ずは、協議会の議論の印象をお聞
かせください。

会長 審議を通じて印象に残った
ことは、一言で言うと山口市は本
当に広くて、多様だということ。
また、それが魅力だということ。
す。農山村や臨海エリアから都市
部までの各地域で異なる魅力や課



山口市総合計画策定協議会では、総合計画の
策定について、専門的かつ総合的な見地から
合計7回に渡るご審議をいただきました。

題を、どのように全市民的な総合計
画として、山口市全体のまちづく
りの方向性として取りまとめるか
に苦心しました。まずは、各地域
や各分野の現状認識や意見交換に
しっかりと時間をかけました。そ
の中で、多様性こそが山口市の魅
力ではないか、そして、広大な市
域を有する本市の自然、歴史、文
化、産業、まち、人材等といった
地域資源の多様性を本市の豊かさ
や発展の源として生かしていくと
いうまちづくりの方向性が重要で
はないかという議論が深まってい
きました。24人の委員の皆様から
専門的な視点、幅広い視野から御
意見を頂き、協議会としての答申
を取りまとめることができました。
委員の皆様にご感謝申し上げます。

—— 答申では、「本市全体の発展」
について御意見をいただきました。
その想いをお聞かせください。

個性ある地域連合を形成していく
イメージですね。

—— 同じく答申では、「ふるさと」
にも触れられております。

会長 中原中也の詩「これが私の
故里だ」の「故里」は、帰りにく
い厳しい故里のイメージもありま
すが、我々は未来志向で「ふるさと」
を捉えていこうじゃないかと議論
しました。

行政は行政で当然頑張ってもら
いながら、「ふるさと」を我々市民
や地域がどう考えるか。「ふるさ
と」は自分たちで何とかしていこ
う。温かくて、皆が帰って来られ
るような、いつも待っているよう
な、そういう「ふるさと」をやっ
ぱり、我々は目指していこうとい

うポジティブな意思表示です。総
合計画のキーワードは「ふるさと」
だと思っています。

—— 総合計画の推進、また、山口
市の今後のまちづくりの展望につ
いて、会長が期待されることをお
聞かせください。

会長 今は、人口を何とか保って
いる山口市も、今後は、人口減少
と少子化、高齢社会の進展に直面
します。そうした中でも、「将来を
担う子どもたちに誇れるようなま
ち」、「暮らしやすいまち」をオ
ール山口市で創り上げていきたいで
すね。そのためには、山口市が持っ
ているリソース、資源を上手に使
うことが大切ですが、山口市は大
きく、多様なので、なかなか目が

会長 こんなに地域資源の多いま
ち、海も山も、温泉も、新幹線も、
文化芸術施設もあるまちは奇跡だ
と思います。ですから、各地域が
同じことをするのはなく、地域
ごとに特長を出したまちづくりを
することが大事だと考えました。
そして、それが各地域の抱える問
題解決にもつながると思います。
多様な地域資源を持つ山口市に
おいては、都市核だけを良くする
のではなく、山口、小郡、農山村、
それぞれの良さを伸ばしていく必
要があります。何もかも一極集中
するまちづくりでは、ミニ東京と
なってしまう、広島や福岡への流
出は止まらないとの想いから、拠
点ごとに機能分化や個性特化をし
ていくまちづくりこそが、本市全
体の発展につながると思論しまし
た。ひいては、市内の21地域が、



山口市総合計画策定協議会を代表し、田中会
長、加登田副会長から市長に対し第二次山口
市総合計画についての答申をいただきました。

届かないところもあると思いま
すし、地域の抱える問題もあると思
いますから、予算も含め、地域で
ある程度自主的に動けるような、
そういう体制が整うことを期待し
ています。
総合計画を「絵に描いた餅」で
終わらせないためにも、「広域県央
中核都市づくり」や「個性と安心
の21地域づくり」をはじめとした
8つの重点プロジェクトの果実を
確実に実らせ、収穫し、次の花も
咲かせて欲しい。そして、「豊か
な暮らし 交流と創造のまち 山
口」これが私のふるさとだ」
の将来都市像を実現して欲しいで
すね。私も、一市民として、まち
に関わっていききたいと思えます。

多くの市民の皆様にご参加いただきました

いっしょに創る未来懇話会



幅広い世代の団体・個人の方々から意見
を伺う場として開催。平成28年6月か
ら翌年7月まで、全42回開催し、248
人にご参加いただきました。

「大好きなまち山口」絵画コンクール



小中学生の皆さんから「これが私のふる
さとだ 山口」をテーマに絵画を募集。
山口市の未来の姿を描いていただきま
した。応募点数は507点、平成29年10
月に表彰式を行いました。

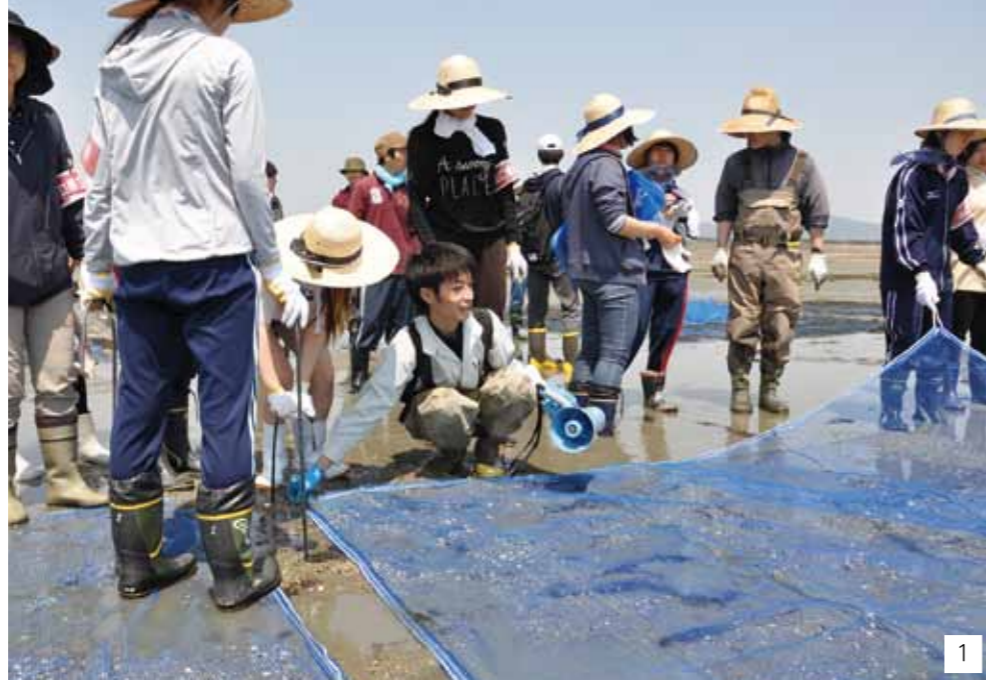
市民意識調査

市民の皆さんの考えを把握するため、約
5,000人の方に意識調査を行い、2,573
人からご回答いただきました。

「里海」を、守る。

私たちの財産である榎野川河口域に広がる自然環境。ここは絶滅危惧種のカブトガニ生息地として、全国的にも非常に重要な干潟です。今回は、その河口域干潟の現状と、再生への取り組みをご紹介します。

問 環境政策課 ☎ 083-941-2180



1. アサリを天敵による被害から守るため、干潟を覆う網を設置している。定期的にモニタリングや網の交換を行い、個体数の回復を目指している。
2. 榎野川河口域で獲れたアサリの貝汁。粒ぞろいの身が、近年の活動の成果を物語っている。
3. 干潮時でも生き物が集まるプールを作っている。作業しているのはボランティアの学生。夏には子どもたちへの生き物体験学習の場となる。
4. 干潟再生活動の一環として行われた潮干狩りの体験の様子。小さな手の上のアサリには、干潟の再生活動に汗を流す人々の思いがたくさん詰まっている。



4月28日(土)に榎野川河口干潟で実施された、「榎野川河口干潟再生活動・潮干狩り2018」の集合写真。晴天のもと、当日は364人が活動に参加した。

当たり前前にあったものがいつの間にか消えてしまった

「里海」ってなに？

皆さんは「里海」という言葉を聞いたことがありますか？あまりなじみがない方でも、「里山」は耳にされたことがあると思います。「里海」も考え方は同じです。人の手が加わることで、生き物の活動が活発になり変化に富んだ沿岸、それを「里海」と呼びます。ちょうど人の暮らしと自然の中間にある領域で、両者が共生する場所となっています。

「里海」は、その豊かな生態系と自然環境により、昔から私たち人間に多くの恵みを与えてくれました。実はその「里海」に、本市の榎野川河口域が該当することをご存知ですか？あまりに身近で見落としがちですが、榎野川河口域は豊かな生態系とその恵みにあふれています。ただ、近年その環境に異変が生じているのです。

豊かな環境は当然ではない

榎野川河口域、特にその干潟が姿を変えていった原因はひとつではありません。浮泥の流入、生活排水、人口の増加など、さまざまな要因が重なっています。それらにより泥浜干潟が拡大し、魚やカニ、それを餌とする野鳥など、生き物の種類や数

戻り始めた「里海」

再生、その活動の先に

環境の再生には多くの時間と労力、そして活動を継続する忍耐が必要で、干潟の底質改善、生物の産卵場所の確保、定期的なモニタリングなど、どれも簡単なことではありません。ただ、そうした困難な活動の成果として、近年、アサリやカブトガニの個体数が徐々に回復傾向にあることは、関係者に大きな励みとなっています。

また、再生活動には、実作業とともに、その後の環境を維持する仕組みづくりが必要です。そのため、榎野川の恵みを生かした商品開発や、子どもたちを対象にした環境体験学習など、啓発的な活動も行っています。環境資源を活用した企画や教育活動という新たな取り組みも生まれているのです。

一人ひとりにできること

干潟の再生というと、あまりに大きなスケールで、途方もない作業のような気がしますが、ただ、そのために求められるのは、大きなことばかりではありません。この豊かな環境を守るために、暮らしの中の小さな行動を見直すこと。それが大きな一歩であり、現在に生きる私たちの責任なのかもしれません。



榎野川河口域・干潟自然再生協議会 会長 浮田正夫 さん

インタビュー

小さな積み重ねが未来を変える

協議会の干潟再生への取り組みは10年を過ぎていますが、水質や生態系という非常に大きな環境を対象としているため、数十年、あるいは百年といった長期的な展望が必要です。その意味で、私たちの活動はようやく始まった段階といえるでしょう。これまでは、市などの行政から側面的な支援を受け、草の根的な活動により地道に取り組んできました。

微々たる力でも積み重ねることで、干潟の再生は可能となるはず。ただ、かつての環境を取り戻すには多くの時間と労力を要するため、活動にはさらに多くの方のお力添えを必要としています。榎野川河口域がどれほど豊かな恵みにあふれているのか、この財産を残すためにも、その恩恵に思いを巡らし、ご協力いただければと思います。



「生きた化石」と呼ばれるカブトガニの幼生。絶滅危惧種で、瀬戸内海一帯と北部九州の限られた場所にしか生息していない。

の減少といった生態系の変化が生じました。地元の方が、「かつては山ほど獲れた」というアサリも今ではめっきり見られなくなり、絶滅危惧種であるカブトガニもすみかを追われ、河口域に暮らす人々も少なからず影響を受けるようになりました。この状況に、「このままではいけない」と、多くの団体が声をあげました。そして平成16年8月、産官学民の連携・協働による取り組みを推進するため、本市も参加する「榎野川河口域・干潟自然再生協議会」が設立されました。自然の恵みにあふれた環境は当然ではありません。維持していくためには、その恵みを受け取る人間が手を入れていかなければならないのです。

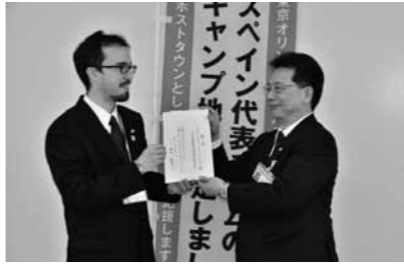


ウェブサイトでも公開中

スペインとのかけはし 国際交流員を新たに任用

本市とスペインとのさらなる国際交流を進めるため、4月2日、山口総合支所で新たな国際交流員の着任式を行い、エフライン・ビジャモール・エヒロさんを任用しました。

本市では2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会および2021年福岡世界水泳大会までの期間、水泳スペイン代表チームのトレーニングキャンプが行われます。今後ますますスペインとの国際交流の機会が増えることが予想されることから、エフライン国際交流員を任用しました。エフライン国際交流員は「山口市とスペイン両地域の活性化やこれからのさらなる有意義な交流に取り組んでいきたい」と抱負を述べられました。今後は、スペインに関するさまざまな講座、料理教室、講演会などを通して市民の皆さんとの交流や、SNSで



の情報発信に取り組みます。
国際交流課 ☎083-934-2725

山口マツダ西京きずなスタジアムで除幕式を開催

4月7日、本市では初の取り組みとなる「ネーミングライツ」の募集により愛称が決定した「山口マツダ西京きずなスタジアム」の除幕式を開催しました。山口マツダ西京きずなスタジアムは、さまざまな映像表示も可能なLEDスコアボードへの改修をはじめ、新たにスピードガンを設置するなど、新たな機能、性能を備えた野球場に生まれ変わっています。

式典で、市長は「本スタジアムの愛称が広く浸透をし、より多くの市民の皆様にあふれる施設となることを大いに期待している」と挨拶し、大原敏之山口マツダ代表取締役とともに看板の除幕をしました。



した。
スポーツ交流課 ☎083-934-2873

願成就温泉センターが リニューアルオープン

耐久性の向上や機能強化を図る工事を終えた願成就温泉センターがリニューアルオープンし、4月13日に記念式典を開催しました。



今回の改修では、無料の足湯や県内の道路情報がライブ映像で見られる情報コーナーを新たに設置しました。さらに、温泉水等を温めるため、木質バイオマスボイラーを新たに導入。地元産の木質チップを利用し、地域資源を活用した環境に優しい施設となりました。また、食堂のメニューは阿東地域のリンゴなど、地元食材にこだわった新しいメニューになりました。式典で、市長は「地域の魅力発信と回遊性の向上を図り、これまで以上に地域に愛される施設となるよう取り組んでいく」と挨拶しました。

観光交流課 ☎083-934-2810

スペイン代表がエキシビションで観客を魅了

アーティスティックスイミング（旧シンクロナイズドスイミング）のスペイン代表チームが、4月18日から24日まで、きらら博記念公園水泳プールでトレーニングキャンプを行いました。21日には、エキシビションや練習が一般公開され、世界トップレベルの演技を一目見ようと、およそ1400人が駆けつけました。そして、本番さながらの演技に、観客から拍手喝采が起きていました。代表を率いる藤木監督は「試合直前でたくさんの観客の前で演技できるということは、すごく大切なこと。日本のプールの水に慣れるためにこの合宿の意義は大きい。この合宿が無かったら最高の状態にもっていきることができない」と話されていました。



本市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で、スペインのホストタウンとなっており、今後も、水球や競泳などのスペイン代表チームがトレーニングキャンプに訪れる予定です。
スポーツ交流課 ☎083-934-2873

平成30年春の叙勲・褒章および第30回危険業務従事者叙勲受章者

春の叙勲・褒章および危険業務従事者叙勲を、市内の39の方が受章されました。受章された方は次の通りです。※()内は功績、年齢、主要経歴(敬称略)

総務課 ☎083-934-2908

旭日小綬章

松永 卓 (地方自治功労70元山口県議会議員)

旭日双光章

宮川 力 (生活衛生功労76現山口県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長)

瑞宝中綬章

大田啓一 (教育研究功労75元滋賀県立大学長)
久保博務 (法務行政事務功労70元近畿地方更生保護委員会委員長)

瑞宝小綬章

片山哲男 (地方自治功労71元山口県教育次長)
杉江宏亮 (警察功労76元山口県警察本部刑事部長)
田中克三 (警察功労78元山口県下関警察署長)
中村和之 (地方自治功労71元山口県土木建築部長)
長谷川史成 (教育功労70元公立養護学校校長)

瑞宝双光章

江藤京子 (看護業務功労62現山口総合病院看護部長)
永田勝彦 (防衛功労71元航空自衛隊航空教育隊第1教育群第3教育大隊長)
中村正昭 (地方自治功労71元山口県監査委員事務局長)
井上雅尚 (警察功労71元山口県警部)
大崎俊夫 (警察功労71元山口県警視)

瑞宝単光章

金子健二 (消防功労67元山口市消防監)
高野慶一 (消防功労68元山口市消防監)
末武新一 (防衛功労61元3等空佐)
八田敬三 (警察功労71元山口県警部)
安田 驍 (警察功労71元山口県警視)
安田良則 (警察功労71元警視正)
柳谷 昇 (警察功労71元警視正)
米元哲宏 (警察功労71元山口県警視)
渡邊静雄 (警察功労71元警視正)

原圭一郎 (矯正業務功労64元法務教官)
原田万里子 (看護業務功労62元小郡第一総合病院看護部長)

藤村正治 (消防功労72元山口市消防団副団長)
三宅謙二 (消防功労74元山口市消防団副団長)
宮本 孝 (警察功労87元警察庁技官)
河井圭吾 (海上保安功労65元海上保安官)
河崎一義 (警察功労71元山口県警部補)
近藤 明 (警察功労71元山口県警視)
齋喜公亮 (警察功労71元山口県警部補)
藤本邦彦 (警察功労71元山口県警部)
藤本敏男 (警察功労71元山口県警部補)
二川伸一 (防衛功労61元3等陸尉)
松永日出男 (防衛功労61元准陸尉)
彌益邦夫 (警察功労71元山口県警部補)

藍綬褒章

高木雅子 (統計調査功績64現小売物価統計調査員)

表紙の写真

花開くか、地域活性化の夢

女性が見ているのは何の花だと思われませんか？実はこれはりんごです。4月20日に阿東地域のなかおりんご園で、地域おこし協力隊の原田尚美さんが、りんごの花びらを採取していたときの様子です。原田さんは阿東の観光資源であるりんごを使ったお酒「シードル」で地域を盛り上げようとしています。この日は、りんごの発酵に適した酵母の研究のために、山口大学工学部の赤田倫治先生の研究室と一緒に、花びら等を採取していました。りんごと言えば秋のフルーツですが、春に咲く花もとってもきれいですね。原田さんは、りんご園を眺めながらシードルが飲める場をつくるのが将来の夢だそうです。

原田さんと赤田研究室の皆さん。山際や発酵したりんごが落ちている場所など、さまざまな環境にあるりんごの花びら等を採取していた。



広報広聴課 ☎083-934-2753

鍋1つでできる
野菜が主役の作りおきおかず

1日3食、主食・主菜・副菜のそろった食事が習慣になることを目指し、「鍋1つでできる！野菜が主役の作りおきおかず」を募集しました。小中学生が考えた「第12回ばく・わたしのお料理コンクール」の入賞作品を紹介いたします。(学年は昨年受賞時) 保健センター ☎083-921-7085



受賞作品の作り方などを掲載したリーフレットは、各保健センターにあります。



切り干し大根きんぴら

- 材料 (4人分)**
- | | | |
|--------------|---|-------------------|
| 切り干し大根…20g | A | みりん……………大さじ2・1/2 |
| にんじん……………40g | | しょうゆ……………大さじ2・1/2 |
| ごぼう……………160g | | 水……………165ml |
| ごま油……………大さじ1 | | ごま油(風味づけ)…小さじ1 |
| | | 白ごま……………大さじ1 |

- 作り方**
- ①切り干し大根は水で戻し、水けを切る。
にんじんとごぼうは長さ5cmの千切りにする。
 - ②鍋にごま油を熱し、にんじん、ごぼうを炒める。
 - ③しんなりしてきたら切り干し大根を入れて炒める。
 - ④火が通ったら、Aを加えて水分をとばしながら煮る。
 - ⑤汁けがなくなったら、ごま油で風味をつけ、白ごまを入れて混ぜる。
 - ⑥火を止めて、味を含ませたら完成。

ポイント
切り干し大根を普段は入れないけど、入れてみたところ。味がしみこみやすいように、にんじんとごぼうを同じ千切りにしたところ。



鴻南中1年 中村穂乃花さん

もりもり夏野菜煮こみ

- 材料 (4人分)**
- | | | |
|---------------|----------------|-----------------|
| ミニトマト……………20個 | たまねぎ……………1個 | |
| にんにく……………3かけ | しめじ……………60g | |
| ベーコン……………6枚 | 押し麦……………20g | |
| にんじん……………1/2本 | 水……………100ml | |
| ピーマン……………1個 | オリーブ油……………大さじ2 | |
| かぼちゃ……………120g | A | |
| ねぎ……………1本 | | みそ……………小さじ1・1/2 |
| | | 塩……………1つまみ |
| | こしょう……………少々 | |

- 作り方**
- ①ミニトマトの皮を湯むきする。
 - ②材料を切る。にんにく…みじん切り ベーコン…1cm幅にんじん、ピーマン、かぼちゃ、ねぎ、たまねぎ…一口大しめじ…根元を切り落とし、ほぐす
 - ③鍋にオリーブ油、にんにくを入れ、香りがしたら、たまねぎ、ねぎを加える。
 - ④たまねぎがすぎ通ったら、ベーコン、にんじん、かぼちゃ、しめじ、ピーマン、ミニトマト、押し麦の順に炒める。
 - ⑤水を加え、約20分煮る。
 - ⑥野菜が軟らかくなったら、Aを加えて煮詰めたら完成。(冷蔵庫で冷やして食べても良い)



鴻南中1年 田口寧菜さん

ポイント
和風にするために、白ねぎ、みそ、押し麦を入れたところ。口当たりをよくするために、ミニトマトの湯むきをしたところ。

山口県央連携都市圏域
山口ゆめ回廊
美祿市 萩市 津和野町
山陽小野田市 宇部市 山口市 防府市

山口県央連携都市圏域では、各地で多彩なイベントが開催されます。少し足を伸ばしてみませんか。ウェブサイトでは、さらに多くの圏域情報を毎月発信しています。



美祿 ますのつかみ取り



つかみ取ったマスをバーベキュー施設(有料)で焼いて食べることもできます(要予約)。
期日 6月23日(土)、24日(日)
場所 秋吉台家族旅行村総合管理棟前ローンゲーム広場
参加費 1人500円(マス2匹まで)
定員 10時スタートの部15人 / 10時30分スタートの部15人(要申込)
対象 マスのつかみ取り参加者は3歳から小学生まで
☎ 秋吉台家族旅行村 ☎0837-62-1110

萩 萩の和船大競漕 おしくらごう



玉江浦地区に藩政時代から約300年にわたり受け継がれている和船競漕「おしくらごう」や、公募参加による中学校・一般の部の和船競漕を開催します。玉江浦ふるさとまつりも同時開催で飲食などの出店もあります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。【ぶらり萩あるき】で検索できます。
日時 6月3日(日) 9時~13時
場所 橋本川下流域河川敷(常盤橋~玉江橋)
☎ 萩市水産課 ☎0838-25-4195

津和野 ほたるとあじさいまつり



ほたるまつりでは地域の人の余芸と屋台で盛り上がり、イベントが終わった頃には、近くの川沿いで多くのホテルを見ることが出来ます。あじさいウォークでは、4,000株を超えるあじさいの花を眺めながら歩き、健康増進を図ります。
期日 ほたるまつり…6月9日(土) / あじさいウォーク…7月1日(日)
場所 ほたるまつり…旧畑迫小学校 / あじさいウォーク…畑迫公民館
☎ 畑迫公民館 ☎0856-72-2119

山陽小野田 あじさいまつり



約4,000株のあじさいが江汐公園内を彩るおまつりです(雨天決行)。散策ツアーや、あじさいの苗の抽選会、あじさいの苗木販売、あじさいの鉢植えの展示、バザーなどがあります。
日時 6月17日(日) 10時~15時
場所 江汐公園管理棟・あじさい園
☎ 江汐公園管理棟 ☎0836-83-5378

宇部 しょうぶまつり



150種類8万本が咲き誇る美しいハナショウブを眺めながらのお茶席や生花展、ハナショウブの苗販売や栽培相談所、屋台村などがあります。しょうぶまつりの日以外もご覧になれますのでどうぞお越しください。
日時 6月10日(日) 10時~15時
場所 ときわ公園しょうぶ苑ほか
☎ 宇部市ときわ公園課 ☎0836-54-0551

防府 あじさいまつり



西のアジサイ寺として知られる東大寺別院阿弥陀寺では、毎年6月にあじさいまつりが開催されます。緑豊かな境内には、約80種4,000株が植えられ、訪れた人を華やかな世界に誘います。
期間 6月1日(金)~30日(土)
場所 東大寺別院阿弥陀寺
料金 大人200円、中学生以下(無料)
☎ 東大寺別院阿弥陀寺 ☎0835-38-0839

6月 7月

イベントカレンダー

6/1 (金) ~ 7 (木)

ほたる観賞 Week!

所 一の坂川一帯

6/2 (土) ほたる祭り

山口ふるさと伝承総合センター、C・S赤れんが前、一の坂川多目的広場、一の坂川交通交流広場付近

所【平日】 観光交流課
☎ 083-934-2810

【土日】 山口ふるさと伝承総合センター ☎ 083-928-3333



6/1 (金) ~ 8/5 (日)

れきみん企画展

「発掘速報展 2018」

所 歴史民俗資料館
☎ 083-924-7001

6/1 (金) ~ 9/2 (日)

史跡周防鑄銭司跡

「第3次発掘調査速報展」

所 鑄銭司郷土館
☎ 083-986-2368

6/2 (土)

四十八瀬川ほたる祭り

所 新町西公民館前広場

所 実行委員会
☎ 083-972-6314

6/3 (日)

おいでマルシェ<毎月第1日曜>

所 中央公園

所 実行委員会

☎ 090-2312-0055



6/9 (土)

講演会「NHK大河ドラマ時代考証のはなし」

所 山口市菜香亭

☎ 083-934-3312

宮野ホテルまつり

所 山口ふれあい館

所 宮野地域交流センター

☎ 083-928-0250

6/9 (土) ~ 7/8 (日)

あじさい日和

所 重源の郷

☎ 0835-52-1250



6/16 (土)

ホテルのタベin 串

所 徳地地域交流センター

串分館 ☎ 0835-52-0222

6/22 (金) ~ 24 (日)

日本陸上競技選手権大会

所 維新みらいふスタジアム

所 スポーツ交流課

☎ 083-934-2912



7/1 (日)

夏越の大祓

所 仁壁神社

☎ 083-923-0342

7/1 (日) ~ 8/7 (火)

山口ふるさと伝承総合センター七夕飾り

所 山口ふるさと伝承総合センター
☎ 083-928-3333

開催中のイベント

7/29 (日) まで

企画展 I

「中也、この一篇——「帰郷」」

所 中原中也記念館

☎ 083-932-6430



応援を力に!

初夏の日差しも日に日に強まるなか、美しく輝く木々の緑に誘われ、健康づくりを目指して活動的に過ごしておられる方も多いことと思います。

4、5月は各地域において運動会が開催され、私も、いくつかの地域に激励に伺いました。会場では、自治会あげての大応援のもと、選手の皆さんが懸命に競技をされておられ、改めて地域の団結力や一体感を感じることができ、とても清々しい気持ちになりました。

さて、6月22日から3日間、本県では初めての開催となります「日本陸上競技選手権大会」が、維新みらいふスタジアムにて開催されます。

この大会は国内最高峰の大会であると同時に、今年のアジア大会日本代表選手の選考会も兼ねており、白熱した戦いを間近で見ることのできる貴重な機会でもあります。

皆さんが運動会でみせたような大応援を国内屈指のトップアスリートに届けることで、日本新記録が生まれるかもしれません。会場での熱い応援を期待しています。

山口市長

渡辺純忠

